

令和6年度みとう保育ルーム　自己点検・自己評価の結果について

年度末にみとう保育ルーム職員9名の自己点検・自己評価を年度末に実施しました。評価点は4点満点に変換後の平均値表示です。

(評価基準) A：かなりできている　B：ほぼできている　C：あまりできていない
D：ほとんどできていない

当園では、「自己点検・自己評価」を保育士5名、運営管理1名、調理従事者3名に対して行いました。

保育士や運営管理、また調理従事者としての在り方や現状を見直す良い機会が持てました。職員すべてにおいて、日常の動き（言動）や専門職としての資質・思いなど様々な角度から自分自身をチェックすることができました。

様々な行事は行えるようになってまいりましたが、まだまだコロナ禍以前と比べて外部との交流の機会をあまりとれていないのが現状です。今後も交流の機会を多くとっていけるよう様々な活動を行ってまいりたいと思っております。

今後、より一層の自園の保育方針・保育目標・保育内容等を理解し合い、学び合い日々の保育に取り組んでいきたいと考えます。

新年度も、計画性をもって、日々の保育実践や職員指導等に、励んでいきたいと考えております。

保護者の皆さん、今後ともご支援、ご協力よろしくお願ひ致します。

(施設長 枝元 恵美)

◎みとう保育ルーム、自己点検、自己評価

【評価基準】 A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない

	評価点
I、1、保育の方法と内容	
・養護	
○子ども一人ひとりに丁寧に対応している	3.6
○登園時は、子どもの気持ちを考慮して対応している	3.4
○午睡時は、一人ひとりが安心できる環境作りを心がけている	3.2
・健康	
○排泄に際して、子どもが自ら進んでいけるような配慮や工夫をしている	3.2
○衣服の着脱に際して、子どもの意欲を大切にし、着脱しやすいよう配慮している	3
○活動に際して、子どもが健康・安全に過ごせるような内容・環境を工夫・配慮している	3
・人間関係	
○相手の気持ちがわかるような声かけや援助を行っている	3.4
○ルール（きまり）の大切さを伝える工夫をしている	3.3
○色々な人との交流が持てるよう工夫している	2.8
・環境	
○身近な自然に興味・関心が持てるよう工夫している	3.1
○地域との交流が持てるよう自ら積極的に働きかけている	2.3
○集団の中での過ごし方や役割について気付けるような工夫をしている	2.3
・言葉	
○読み聞かせの時間を大切にしている	3
○子どもが話しやすい雰囲気作りを心がけている	3.6
○子どもの言葉にしっかり耳を傾けている	3.6
○色、数字、簡単な形など興味や関心を持てるよう配慮している	3
・表現	
○言葉、絵、造形、音など子どもが最も得意な方法で、見た物感じた物を表現することを大切にしている	3
○自由に表現できる環境作りを心がけている	3.2
・乳児保育	
○授乳は、一人ひとりに丁寧に行っている	3.3
○離乳食については、一人ひとりに丁寧に行っている	3.8
○おむつ交換をする際は、乳児の気持ちを考慮し対応している	3.6
○寝かせる際は、一人ひとりが安心できる環境作りを心がけている	3.2
○乳児の発達段階を理解し、個々の成長や場面での適切な対応に努めている	3.3
○一人ひとりを細やかに把握し、丁寧に対応している	3.5

・子どもの人権	
○子どもの人権への配慮や、互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている	3
○性差へ先入観による固定的な対応をしないよう配慮している	33
2、発達援助の基本	
・指導計画の作成	
○指導計画を作成する際、園の理念や保育過程等を理解し、基にしている	3.2
○指導計画を作成する際、個別の対応について配慮している	3.4
○指導計画を子どもの発達の姿、興味・関心に基づいて見直し、次の計画作成に生かしている	3.4
○指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できる	3.2
・個人記録の作成など	
○現在、担当している子どもの個人記録を作成している	3.5
○子どもの個人記録に基づく情報を、その子どもに関わる他の職員と共有している	3.4
○職員会議などで、あなたは積極的に発言している	3
3、健康管理・食事	
○登園時や保育中の子どもの体調の変化に気付き、すぐに対応できるよう努めている	3.1
○健康診断の結果を保護者・職員間で共有している	3
○身体測定や健康診断の結果を、日常の保育に生かすよう努めている	2.9
○感染症が発生した際、マニュアルに基づいて対応している	3.3
○その日の喫食状況（哺乳量）を保護者に伝えている	3.6
○一人ひとりの子どもの状態に応じた対応をしている	3.6
○子どもが落ち着いて食事を楽しめるよう工夫している	3.6
○食事に興味が持てるよう配慮している	3.3
○食について保育士と給食従事者が意見交換の場を持ち、連携して食育活動をしている	3.6
○献立に旬の食材を取り入れ、ほぼ100%手作りしている	4
4、保育環境	
○子どもが心地よく過ごすことが出来るよう、採光や換気、温度や湿度に配慮している	3.6
○手洗い場での事故や怪我がないよう配慮している	3.6
○衛生面に配慮している	3.3
○子どもが安心できる環境作りを心がけている	3.3
○子どもが満足して遊べる環境の工夫をしている	3

	評価点
II、子育て支援	
・子育て支援	
○保護者との関わりを積極的に持てるよう意識している	3.1
○虐待について速やかに対応できるよう努めている	3.2
○地域への取り組みに積極的に参加している	2.2

	評価点
III、保育園の職員構成・役割分担・研修	
○施設長や主任の園務分掌がはっきりとしていて、それぞれの仕事を責任持って行っている	3.1
○危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	3.5
○園内外の研修は、計画的に実施されている	3.3
○保育に関わる様々な知識や技能の向上に努め、悩みや疑問を解決するため、研修に参加したり専門書を読むなどして自己研鑽している	3.1

	評価点
IV、地域の住民や関係機関等との連携	
○園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的に雰囲気作りを心がけている	3.2
○園生活の子どもの様子を保護者や地域社会に積極的につたえている	3.4
○老人ホームなどを訪問し、お年寄りと園児のふれあいの場を大切にしている	2.2

	評価点
V、運営管理	
○園の保育理念や基本方針を理解し、日々の保育活動に生かしている	3
○保護者に、園の保育理念や基本方針を理解してもらうよう努めている	3
○保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めている	3
○自らの保育実践を振り返り、改善や活性化、専門性の向上に努めている	3
○施設長や主任、同僚との間で良好な関係を築いていく	3
○子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	4
○職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	3
○帳簿類は、適切に記載し、整理保管している	4
○カウンセリングマインドの視点に立ち、常に保護者対応をしている	3
○定期的（毎日）に施設設備・遊具等の安全点検をしている	3
○園運営が円滑に行われるよう適切に予算を執行している	3